

住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第88号 平成24年4月27日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 佐伯晴子
発行責任者 南 圭三郎

目次

農家さん訪問記 (72)	p. 1
住友化学アグログループ紹介 レインボー薬品(株)	p. 7
新農薬紹介 箱いり娘	p. 8
今月の肥料紹介	p. 9
今月のお奨め農薬	p. 10
今月のご相談から	p. 11
復活! お役立ちプチ情報	p. 12
農薬登録情報	p. 13
病虫害発生情報	p. 14
トピックス 「日本農薬学会業績賞及び日本雑草学会技術賞受賞」	p. 15
最近の「お・・美味しい!」	p. 16
編集後記	p. 17



ウソ (アトリ科) とソメイヨシノ (バラ科)
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(72)

正月・彼岸の菊は沖縄にお任せを

今回の農家さん訪問記は、南国「沖縄」からのお届けです。取材日は2月の末。東京は0度だということに、沖縄は15度! さすが常夏です。着て行った上着は邪魔になるだけということで、那覇空港のコインロッカーに預けて「上着要らず」の取材となりました。(取材日: 2月28日)

さまざまな花栽培が盛んな沖縄

さて、沖縄の農産物といえば、何を思い浮かべますか? さとうきび? マンゴー? 紫芋? たしかにこれらも有名ですが、実は沖縄、知る人ぞ知る「花王国」なのです。花といえば、こちょうらんなど良く知られた花や、ヘリコニア、レッドジンジャー、デンファレなど南国ならではの花など色々ありますが、今回ご紹介するのは、皆さんも良くご存知の菊(輪菊・小菊・スプレーグク)なのです。沖縄で菊? 南国のイメージとちょっと違う . . . と思う方もおられるかと思いますが、実は沖縄県は菊の一大産地なのです。

今回訪れたのは、沖縄県の中部、沖縄市にある花卉農家さんです。沖縄市の農産物には野菜や果実、畜産等様々ありますが、なんとそのうち、花卉が生産額のトップとなっています。この、沖縄県中部地区だけでも花卉全体で30

万5000坪を占めており、驚くべきことにそのうち30万坪が菊の栽培面積ということです。



美しい露地栽培での電照菊風景

菊栽培が盛んなのは中部地区に限ったことではなく、沖縄県全域で盛んで、堂々たる基幹作物となっています。そんな県内の花卉生産部会（北部・中部・南部）を束ねる **JAおきなわ園芸事業協議会**の会長をされているのが今回お話を伺った屋宜宣仁（やぎせんじん）さん（54歳）です。今回は奥様の文（あや）さんも一緒に取材に応じてくださいました。また、JAおきなわ中部地区営農振興センターから花卉指導の知念さん、琉球産経から新垣課長さんも加わり、あいにくの雨模様でしたが、賑やかなインタビュー現場となりました。

JA おきなわ園芸事業協議会では、全国の市場関係者や、こちらの各支部・部会長他合わせて約130名が集結し、年5～6回ほど以下のように**情報交換・協議検討**をしています。

- ・その年の市場動向の情報交換
- ・今年の出荷生育動向の予測を立てる
- ・今後の出荷方向性を決める

最初に全体で集まり、その後沖縄各地へ入ってさらに踏み込んだ情報交換・協議検討をします。この規模・緻密さからも、沖縄県の花卉は日本の中でも大きな位置づけであることが伺えます。

沖縄県地図(抜粋)



花一筋で専業農家に！



JAおきなわの知念さん 文さん 屋宜さん

屋宜さんは、もともと会社員でしたが、兼業農家として畑を借りて400坪から農業をスタートさせました。当初から花栽培一筋で、屋宜さんの代から始めたため、ノウハウもなくゼロからのスタートでした。その後、苦労しながらも面積を増やして行き、とうとう今から12年ほど前に専業農家になりました。現在では、その栽培面積は約4000坪とのことですが、2度植えするため実質は延べ6～7000坪といったところでしょうかと屋宜さん。

栽培作物は、すべて花卉類です。主力は菊ですが、そのほか、グラジオラス、

ダリア、ソリダゴを試験的に始めたそうです。菊の色は白・黄・赤の3色が主力です。品種としては色別に、黄色は「秋芳」が主力で、サブとして今年は「黄河」を植えています。白は、今年は「しずく」を植えており、赤は今年は「紅寿（こうじゅ）」という品種を植えています。割合として黄色8割、白1割、赤1割といった具合だそうなので、メインは黄色の秋芳、これに毎年黄・白・赤で違う品種を試してみている状態だと言えます。

花栽培といえば「施設（ハウス）栽培」がつきものですが、暖かくてそもそも加温の必要がないため、沖縄ではほとんどが露地栽培だそうです。実際、4000坪の栽培面積のうち、3500坪は露地栽培です。あとの500坪ではネットハウスを使用しています。壁のある通常のハウスでは沖縄だと冬でも暑過ぎてしまうのと、台風対策のため壁が無く風の抜けるネットタイプのハウスの方が都合がよいのだそうです（でないとも飛ばされてしまう）。

屋宜さんのところでは、通常の農作業はご夫婦2人でこなし、加えて年間120日ほどはパートさん1名に手伝ってもらっています。さらに夏場の植え付け時期が人手不足のピークとなるため、この時期だけは臨時で10名ほど人を雇うとのこと。

一年にわたる菊栽培

沖縄の菊は、ほとんどが秋に開花して出荷する「秋菊」です。これは夏出荷の菊だと沖縄以外の産地との競合が起こりますが、沖縄ならではの輸送コストがかかるため価格で太刀打ちできないからです。屋宜さんのところでの作業自体は、準備が6月ごろから始まり、片付けまで入れると翌年5月までと、ほぼ一年中にわたります。

では、屋宜さんの菊の栽培暦を見て行きましょう。まず6月ごろから苗作りが始まります。一部の畑を苗作りのための畑（母木畑）とし、親株を作り、2週間ほどすると発根するので、そうなったら栽培畑へ移します。苗はすべて自分で作ります。このあたりのほとんどの花卉農家さんも同様だそうです。自分で作るメリットは、自分で作っているのが安心なのと、少しずつ作れること、他の農家さん仲間との融通ができることが挙げられます。

その後、7月～12月にかけて、定植と収穫・出荷を少しずつずらしながら順繰りに行います。たとえば、7月定植なら11月に出荷、8月定植なら12月出荷といったふうです。定植をそうして12月まで少しずつ行います。定植後は、電気照明（電照）を当てて開花を遅らせることで出荷時期の調整を行う方法を取っています（いわゆる電照菊）。出荷時期を自分で調整できるため収穫・出荷期間も11月～翌年5月までと非常に長くなっています。そのうち、沖縄での収穫・出荷ピーク時期は、年末年始と3月のお彼岸前になります。この時期は、他産地では寒くて重油代などの栽培コストがかかるため割に合いません。一方、暖かい沖縄ではハウスや加温が不要のため有利となるわけです。そのため、この時期沖縄は、菊の最大供給基地となるのです。

沖縄ならではの！露地栽培での電照菊

さて、屋宜さんのところでは「電照」という方法を取って出荷時期を調整していると書きましたが、屋宜さんに限らず、沖縄の菊農家さんは同様な「電照菊」栽培を行っています。では、その「電照菊」ってどういうものなのでしょうか？少し説明しますと・・・菊は日照時間が短くなると花芽を形成し、蕾となって開花するという性質があります。このため冬場に普通に育てると、日照時間が短いので、出荷に必要な長さに成長する前に花芽が形成されてしまいます。そこで、そうならない前に人工的に光を当てることにより、花芽形成・開花時期を遅らせる方法が取られます。これが「電照菊」です。いわば一種の抑制栽培ということになります。



露地に照明が浮かぶ不思議な風景です

屋宜さんのところでは、定植後に電球を点灯します。日が伸びる夏場は夜23:00から2時間ほど、冬場は同じく4時間ほど当てます（深夜電気料金で安いのでこの時間に点灯するのだそうです）。定植後から点灯を開始して約60～70日後に点灯をやめます。すると、その後40～50日後に開花が始まるそうです。このように、定植も順繰りにするだけでなく、電照によって開花・出荷時期も人工的に調整できることから、たとえ出荷のピーク時であっても臨時要員は不要とのことでした。

その電照菊栽培の場合、10アールで100個ほど電球が必要になります。電球は、普通の電球、蛍光灯、白熱灯、LEDなどがあり、色も白熱灯なら白昼色、蛍光灯では白やピンク（！）、

LEDは赤、とそれぞれ使い分けをしています。どの種類のどんな色のものを使うかは、コスト面や用途によって変わってきますが、圧倒的な購入コストの安さからほとんどの農家さんは普通の電球を使っているそうです。とはいえ耐久性や電気代などを考えると、蛍光灯・LEDを将来的にもっと導入できれば・・・と屋宜さんは言います。

また、色の使い分けとして、特にピンクは虫が寄りづらいという特色を持っているそうです。加えて色によって菊の成長を調節できるとのことで、いろいろと試行錯誤中です。総じて電球の種類を使い分けにしても、色の使い分けにしても、メインの畑では手堅い種類のものでやっており、試験的な畑ではいろいろやってみているのが現状とのことです。

さて、沖縄では先述のとおり、菊栽培にあたって「露地栽培で電照菊」が最大の特長です。電照菊栽培自体は沖縄以外でも見られますが、通常「ハウス」での栽培となっています。この時期でも暖かいために、菊を露地栽培でできてしまう沖縄ではハウスは不要です。とはいえ、いくら沖縄といえども冬場は日照時間が短いため、お正月・お彼岸に合わせて出荷時期を調整するには電照が必要ということで、このように沖縄以外ではまず見られない幻想的な光景が広がるのです。我々が取材で訪れたのは昼間でしたので、このような幻想的な風景を目にすることはできませんでしたが、実際に畑を見せていただきました。昼とはいえ、屋外の畑に電球が釣り下がっている珍しい景色を見ることができました。これは夜になるとさぞかし綺麗だろうな～と思いました。電球の釣り下がっている具合が何かのお祭りかな？と言った感じです（文さんいわく、赤い電球の畑は夜見るとまるで居酒屋みたいですよ、とのことです（笑））。



夜になるとこんな景色に・・・

菌核病がやっかいな敵

我々は農薬・肥料の会社ですので、やはり病害虫、肥料についてお聞きしないわけにはいきません。まず病害虫防除についてお聞きしました。害虫でのメインはスリップスだそうです。とはいえダントツ、ディアナ、アドマイヤー、ハチハチ等の農薬で定期的にローテーション防除をしているので今のところ大発生は無いそうです。病気で怖いのは、菌核病です。というのもこの病気は、「目に見えない・一晩で拡がってしまう」というやっかいな病気で、例えば出荷の際には罹病に気づかなくても、一晩で拡がって出荷先の市場から指摘が来てしまうといった具合です。その菌核病防除には、月1回農薬を散布して予防しています。

一方、肥料は？というと、元肥には、鶏フン・油かす・魚粉・肉骨粉などをまぜたものを使用しています。これを畝の上だけに手撒きし、混ぜ込むやり方で施肥します。屋宜さんいわく、元肥は畝の上だけに撒ければ十分だそうです。作業が大変でも無駄のない手撒き方法でやるのだそうです（トラクターでの施肥だとラクな分、要らない分まで撒かれてしまう）。その後追肥としては、除放射性肥料の70日タイプを使用しています。70日タイプなので1回の施肥で済むようです。あとは菊の生育を見ながら調節するとのことでした。

ダイナミック！沖縄ならではの輸送法

このようにして収穫された菊たちは、その後どうやって消費者の手に届くのでしょうか？続けて収穫後のお話を聞きました。収穫は蕾の状態で行います。その後、専用プールで茎部

分を水に漬けておき（「水あげ」という）、大きさの選別をし、箱詰めまでを各農家さんで行います。大きい農家さんになると扱う花の量も多いので、大きさの選別作業をロボットが行ったりするそうです。菊の選別はまずA品、B品で分けられ、L・M・Sという長さ・かさ張り加減で分けられます。ダンボール1箱に、L品なら200本（10本を1束にして20束入る）、同様にM品なら250本、S品なら300本が入って出荷されます。菊1本あたりの価格は、品種や色により違うとはいえ、だいたい45円ぐらいだそうです。人気があるのはお彼岸時期なら、そのまま切らずに売ることの出来るM品だそうです。とはいえ市場や時期によって人気は様々なため、色々なサイズのものを揃えておく必要があるとのことでした。



各農家さんからJAに集められた菊は、浦添市にあるJAおきなわ花卉部に集まります。ここで、全国各市場へ出荷するために、それぞれの市場ごとに配荷（分ける）します。先ほど「収穫は花が開く前の蕾状態で収穫する」と書きました。蕾から花が開くまでは品種によりますが、早いものでは1日で動き始めてしまうそうです。ということで、ここからはスピードが命となります。特にお彼岸は花が使われる日が決まっているので、納期が最優先となります。



そのために、なんと花専用の飛行機がチャーターされます。ここまで急がない場合でも、旅客機にコンテナで積み込んだり船に乗せたりと、まさに沖縄ならではのダイナミックな輸送となります。輸送がダイナミックなため、どうしても輸送コストもダイナミックになってしまいます。例えば、どんな大きさのものでも、ダンボール1箱につき運送費用でまず2000円ほど経費がかかります（航空運賃の場合）。そして、それに各市場の取引料等が加わると、どうしても1箱3000円前後の経費がかかってしまうようです。沖縄以外の産地に比べると、驚くべき経費の高さです。トラック輸送が叶わないため仕方がないとはいえ、この点も沖縄ならではの特征となります（ちなみに、この現象は花に限りません。沖縄から出る野菜・肉・魚等どんなものでも同じことです。考えてみればその通りなのですが大変です・・・！）。

ハウスの暖房費が要らず露地栽培が可能な沖縄は、他産地に比べてこの時期の栽培はコスト面でかなり有利です。そのため、輸送面での不利を吸収できるのです。ですが、屋宜さんは極端な高値は望んでいません。あんまり高値がついてしまうと安い輸入品が入ってきてしまうからです。たとえば今は中国からの輸入品でも日本人が現地指導をしているため、多少のバラつきはあるものの品質はそんなには悪くないそうです。「高く売ればそれでいい」という単純なことではないのです。

花栽培への夢は無限大

どうです？沖縄独特の様々な事情。これは私たちも、実際に訪ねて話を聞くまでは知らなかったことでした。同じ日本でも、ところ変われば・・・ということなのですね。最後に、屋宜さんの今後の展望について伺いました。

屋宜さんにはお子さんが3人いらっしゃいますが、いずれも転勤等で東京住まいだそうです。先日、出産のために娘さんが沖縄に帰ってこられたそうですが「後継者としてはどうかな〜？」と言ったところだそうです。冗談めかして「孫に期待！」と笑って話してくださいました。また、最近規模を増やしたばかりなので、それを今の人数で維持するためにがんばりたいとのこと。でも一年中仕事のある作業ではないため、パートさんは増やしにくいとのこと。他の農家さんには、そういったパートさんの雇用を維持するため、利益度外視で夏場に野菜を作ったりしている方もいるようですが、屋宜さんはそこまで考えていないようです。さらに、秋菊とはいえ、一年中通して、人気があって単価が高いものを時期ごとに選別し、いかに回転させるかが課題だと屋宜さん。この場合、品種だけではなく色バランスが重要だそうです。例えばお彼岸は赤・白・黄以外のニーズは少ないが、それ以外の時期にはもう少し冒険しても良いかもしれないとのこと。とまあ、語らせたら話が尽きず、何しろ「菊への情熱」がすごい屋宜さんなのでした。実はこの情熱、屋宜さんだけではありません。そう、奥さんの文さんも！です。文さんは地元の農家さんの奥さんたちと花の会を結成し、生け花をしたり、地元のファーマーズマーケットに盛り花を作って売ったりしているそうで、見たところ宣仁さん以上にお花好き！県外への視察にも参加されているそうですから、なみなみならぬ情熱を感じます。今後も、お二人で沖縄の花、ひいては日本の花を支え続けてほしいと思いました。（佐伯・南）



途中寄ったファーマーズ市場の様子です（綺麗！）

※今回の取材は、琉球産経様、JAおきなわ様のご協力で実現しました。
ありがとうございました。



畑のお隣にあったパパイヤの木（おまけ）

[目次へ戻る](#)

新提案!!

抑草剤 のびない君



除草剤はなんだか怖そう・・・、近所の人目が気になるから除草剤を使うのはちょっと・・・など、”除草剤に不安”というイメージがある中で、それでも雑草をなんとかしたい、そんな声に応えたのが「抑草剤」です。

雑草を全部枯らしてしまわずに、伸びるのを抑え草刈作業を軽減します。

そんな抑草剤「のびない君」が、この春レインボー薬品より新発売されました。

抑草剤「のびない君」で草刈りの回数を軽減できます！

雑草を枯らさずに、伸ばさない管理をすることで、こんなメリットがあります。

- ◆ 砂ぼこりや雨水による泥はねを抑えられる。
- ◆ 炎天下での草刈り作業が軽減できる。
- ◆ ある程度の美観を保つことができる。

こんな違いが出来ます。

雑草の発生前～発生始期に「のびない君」をまいてください。

使用の目安は 40～80g/㎡です。
大きくなってしまった雑草にまく場合は、刈り込み後にお使いください。



2kg 入 (25～50㎡用)

抑草剤
植物成長調整剤

公共施設の
緑地管理に
使われている
成分です。

のびない君の効果写真



おすすめ散布時期 定期的な管理をしましょう!

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			1回目			2回目			3回目		

※効果持続期間は約3ヶ月です。

お問い合わせ先

レインボー薬品株式会社

TEL 03 (6740) 7777

平日 9:00～17:00 (土・日・祝日は休み)

<http://www.rainbow-f.co.jp>

新農薬紹介

水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤

箱いり娘[®]粒剤

春の大型連休も近づき、本年度もいよいよ稲作シーズン本番を迎えます。今月はこの春から販売を開始した、水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤『箱いり娘粒剤』をご紹介します。

『箱いり娘粒剤』は、いもち病に高い防除効果を有する抵抗性誘導型の新規有効成分であるイソチアニル（商品名：スタウト）、紋枯病に強力な抗菌活性を示すフラメトピル（商品名：リンバー）、水稲害虫の防除に定評のあるネオニコチノイド系殺虫剤のクロチアニジン（商品名：ダントツ）、チョウ目害虫に高い効果を発揮する新規有効成分であるスピネトラム（商品名：ディアナ）の混合箱粒剤です。

幅広い水稲病害虫の防除が可能であり、あなたの稲を大切にお守りします。

【『箱いり娘粒剤』の特長】



①いもち病、紋枯病など水稲の主要病害に優れた効果！

いもち病、紋枯病はもちろん、白葉枯病、もみ枯細菌病、穂枯れ（ごま葉枯病菌）の同時防除が可能です。

②水稲初期害虫、ウンカ類、コブノメイガ、フタオビコヤガなど、水稲の主要害虫に優れた効果！

稲作の初期～中期に発生する主だった害虫の同時防除が可能です。

③稲に対する高い安全性！

【『箱いり娘粒剤』の登録内容】農林水産省登録 第23033号

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ イネツトムシ フタオビコヤガ コブノメイガ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約50) 1箱当り50g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に 散布する

新登場の水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤『箱いり娘粒剤』をよろしく申し上げます。(田渕)

[目次へ戻る](#)

今月の肥料紹介 **スーパーSRコート 高原レタス専用肥料**

SUPER SR COAT

園芸元肥一発肥料 葉菜2作取り455

高原レタス栽培農家のみなさまへ !!
 葉菜2作取り455は 安心して作れる! 採れる!
 元肥一発肥料です。

《特長》

1. 2作取りレタスに設計した専用肥料です。
 2作取りレタス栽培に最も適するよう、化成肥料と3種類の被覆尿素を配合して設計した新しい専用の肥料です。1作目の適度な肥効とその後の2作目に続く十分な肥効、このバランスが重要です。
2. 最適な肥効が栽培後期まで持続します。
3. 省力かつ追肥も不要!!
 施肥はこの肥料を元肥時に1回撒くだけで大丈夫。
 肥効が最後まで持続し、大変省力的です。

《現地報告》 調査日:2011/8/11



調査
コメント

SSR 施肥圃場に生育調査に行きました。
 農家さん曰く、『1作目は玉も大きく収量もとれた』との事でした。
 2作目も順調に生育しています。
 これで追肥も不要です!

レタスは
コレ!!

白菜には
コレ!!

銘柄	作物	N-P-K	包装	使用方法	施肥量(/10a)
SSR 葉菜 2作取り455	レタス	14-15-15	20kg	全面施用 土壌混和	160~240kg
SSR ハクサイ 2作取り644	白菜	16-14-14	20kg	全面施用 土壌混和	240~280kg

葉菜2作取り455のお問い合わせはこちらまで・
 住友化学株式会社 アグロ事業部 肥料営業部 電話:03-5543-5783

今月のお奨め農薬

施設の難防除害虫アザミウマ類の防除に

天敵農薬 オリスター A



アザミウマ類は野菜・花き類の施設栽培では吸汁被害とウイルス病を媒介する問題害虫です。アザミウマ類の防除では、特に海外からの侵入害虫のミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマは高度の殺虫剤抵抗性を発達させているために、耕種・物理的防除、生物的防除、化学的防除（殺虫剤使用）等を組み合わせた総合的防除（IPM）を行なう必要があります。（i-農力だより 2011年11月号参照）

オリスターAはアザミウマ類の天敵タイリクヒメハナカメムシを有効成分とした天敵農薬で、難防除害虫であるアザミウマ類に対して高い防除効果を示します。有効成分のタイリクヒメハナカメムシ（成虫の体長は2~3mm）は国内に生息する在来種から高い捕食能力と生殖休眠しにくい系統を選抜したものです。放飼後、施設内で速やかに増殖するので、長期に安定した高い効果があります。オリスターAは省力的で作物残留の心配のない農薬です。また、抵抗性発達の心配もありません。

天敵を含めた生物農薬は日本農林規格^{*)} JAS認定資材^{*)}として認められており、有機栽培^{*)}で使用が可能です。また節減対象農薬^{*)}ではないので、特別栽培^{*)}では農薬の使用回数に数えません。なお、生物農薬には天敵農薬や微生物農薬があり、最も一般的な微生物農薬のBT水和剤については以前にこのお奨め農薬コーナーで紹介しています。（i-農力だより 2010年6月号、7月号、および2008年6月号、7月号）



^{*)} 日本農林規格：

農・林・水・畜産物およびその加工品の品質保証の規格。英語名の Japanese Agricultural Standard を略して JAS 規格ともいう。

^{*)} JAS認定資材：

日本農林規格（JAS規格）で有機栽培での使用が認められている資材のこと。

^{*)} 有機栽培：

多年生作物の場合は過去3年間以上、それ以外の農産物（米、野菜等）では過去2年間以上農薬や化学肥料を全く使用していない農地で行なう有機JAS規格を満たした栽培のこと。収穫物は有機農産物と表示できる。

^{*)} 特別栽培：

その農産物が生産された地域の慣行レベル（各地域の慣行的に行なわれている節減対象農薬及び化学肥料の使用状況）に比べて、節減対象農薬の使用回数が50%以下、化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培すること。

^{*)} 節減対象農薬：JAS認定資材に入っていない化学合成農薬



タイリクヒメハナカメムシ（成虫）

[オリスターAの上手な使い方]

- ・ 製品到着日の夕方に放飼する。到着日に放飼できない場合は製品を開封しないで冷蔵保存し翌日には必ず放飼する。
- ・ アザミウマ類の早期発見に努め、アザミウマ類の密度が低い時に放飼する。
- ・ 効果が発揮できる圃場条件を整備する。
- i) 放飼前にオリスターAに影響を与える薬剤を使用しない。
- ii) 放飼後殺虫剤を散布する場合はオリスターAに影響の少ない薬剤を散布するか、害虫の発生している株に限ったスポット散布を行なう。
- iii) 施設外周りの雑草を防除する。
- iv) 施設の開口部（サイド、出入り口等）にネットを張る。

次回は施設用生物農薬殺虫剤「ミドリヒメ」（ハモグリバエ類防除薬剤）、「ゴツツA」（コナジラムシ類、アブラムシ類防除薬剤）をご紹介します。

（鳥取）

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

竹類に関する特集！



今回は「竹類」に関するご質問を取り上げてみました。

Q 1. デゾレートAZ粒剤で「竹」を防除したいのですが、効果的な使用方法を教えてください。現在は竹を刈り取った状態です。

A 1. 一般的に最も効果が発現しやすい時期は、竹の成長が盛んな「4～6月頃の生育期」です。春になって竹が再生してきたら、デゾレートAZ粒剤「45～60kg/10a」を、植栽地を除く樹木等の周辺地に「全面土壌散布」して下さい。なお、的確な効果を得る為のコツは「出来るだけ本剤散布前に、堆積している竹の葉を取り除く」ことです。

本剤は遅効的な除草剤ですので、完全枯死するまでに2～3ヶ月以上かかります。また、竹の種類によっては10ヶ月以上を要した事例もあります。

なお、試験事例では「9～10月上旬」の処理でも、十分効果が確認されていますので、春先に処理出来ない場合は秋口でも使用可能です。

Q 2. デゾレートAZ粒剤を竹の防除に使用しますが、竹藪の近くに畑があります。散布時に注意すべきことを教えてください。

A 2. 薬剤が作物に接触すると薬害が出ます。傾斜地や降雨で薬剤が流出する可能性がある場合は、散布を控えて下さい。

Q 3. 竹類を加害する病害虫を防除する薬剤を選ぶ場合、登録作物分類上は「樹木類」に該当すると考えたら良いのでしょうか？

A 3. 「まだけ、もうそうちく、はちく」のたけのこを食用として収穫する場合は「野菜類」、非食用なら「樹木類」ということになります。なお、「観賞用もうそうちく」は「花き類・観葉植物」、「かんのんちく」は「樹木類」となります。

(注) 農薬登録における「竹」の作物分類ですが、竹のサイズで樹木類と花き類・観葉植物に分類されます。このサイズについては以下のような目安があります。

樹木類 : 高さ2～3m以上、稈周囲：10cm以上

花き類・観葉植物：高さ2～3m以下、稈周囲：10cm以下

Q 4. 竹に害虫が異常発生しています。どんな薬剤を使ったら良いですか？

A 4. 竹類の防除薬剤は、樹木類又は花き類・観葉植物に登録のある薬剤から選択して下さい。

樹木類および花き類・観葉植物の両方に登録のある殺虫剤

アディオン乳剤、エスマルクDF、スミチオン乳剤

なお、以下の点にもご注意下さい。

①スミチオン乳剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないように注意して下さい。

②樹木類や花き類・観葉植物のように「適用作物群」に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。

Q 5. 「かんのんちく」に使用できる殺菌剤を教えてください。

A 5. 「かんのんちく」は、作物分類上は「樹木類」に含まれます。

樹木類に登録のある殺菌剤

アンビルフロアブル、ゲッター水和剤、バンレート水和剤、ボルドー（水和剤）、リゾレックス水和剤

(小川)

[目次へ戻る](#)



今月号より
復活！！

お役立ちプチ情報

新シリーズです。

シリーズ「どこが違う」(その1)

○水稲とタイヌビエ

ノビエは水田に発生するヒエ属の雑草の総称で、その殆どがタイヌビエです。除草剤が開発されるまでは農家はひたすらこの雑草を抜いてきました。長年に渡ってタイヌビエは抜かれてきましたが、稲によく似たものは抜かれるのを免れ、水田で繁殖してきました。その結果、タイヌビエは一見しただけでは稲と見分けがつかない雑草となっていました。苗床に発生したタイヌビエを稲と間違っただけでそのまま植えてしまうこともあります。逆に、前年栽培した稲の籾が落ちて、次の年の田植え後に発芽してくるとタイヌビエが発生してきたと誤解されることもあります。このようにタイヌビエは稲にそっくりで防除困難な強害雑草です。しかし、タイヌビエと稲を簡単に見分ける方法があります。タイヌビエと稲の葉は葉身と葉鞘に分かれますが、稲では葉身と葉鞘の間に葉舌があり、タイヌビエにはありません。これは簡単に見分けられますので、タイヌビエと稲を見分けて防除の参考にしてください。



似ている！

水稲

タイヌビエ

よく見ると



葉舌がある



葉舌がない

次回は似ている雑草の見分け方です。

(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

3月21日・4月11日の主な適用拡大の内容です



適用拡大

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか		
殺菌剤	住化スミレックス 水和剤	作物名変更	根深ねぎ ねぎ	小菌核腐敗病	1000倍 100～300L/10a	収穫21日前まで 3回以内 株元散布	
		使用液量 設定				りんご、みかん、もも、すもも、おうとう、 あんず、びわ、マンゴー	200～700L/10a
		使用液量 設定	以下作物のうち使用方法が「散布」のもの ばれいしょ、だいず、あずき、らっかせい、 いんげんまめ、きゅうり、すいか、メロン、 かぼちゃ、トマト、なす、ピーマン、ししとう、 キャベツ、レタス、たまねぎ、いちご、 食用へちま、とうがん、にんじん		100～300L/10a		
			病害追加	キウイフルーツ	すす斑病	500倍 200～700L/10a	収穫60日前まで 7回以内 散布
		作物追加	カリフラワー	べと病	1000倍 100～300L/10a	出蕾前但し、 収穫14日前まで 3回以内 散布	
	STダコニール 1000	使用液量 設定	以下作物のうち使用方法が「散布」のもの ばれいしょ、やまのいも、 やまのいも(むかご)、もりあざみ、 らっかせい、きゅうり、にがうり、ズッキーニ、 すいか、メロン、かぼちゃ、トマト、ミニトマト、 なす、キャベツ、はくさい、ひろしまな、 だいこん、なばな類(なばなを除く)、なばな、 たまねぎ、ねぎ、わけぎ、らっきょう、 にんじん、セルリー、レタス、リーフレタス、 みつば、しょうが、みょうが(花穂)、 みょうが(茎葉)、にんにく、ゆうがお、 うり類(漬物用、ただし、ゆうがおを除く)、 てんさい、うど、ふき、食用ぎく、食用ゆり、 ピーマン、みしまさいこ、しゃくやく(薬用)、 ブロッコリー、カリフラワー、ばら、きく、 カーネーション、チューリップ、ゆり、りんどう、 宿根アスター		100～300L/10a		
			りんご、なし、もも、ネクタリン、いちじく、 キウイフルーツ、マルメロ、かりん、 パッションフルーツ、パパイヤ、しきみ		200～700L/10a		
			アスパラガス		100～400L/10a		
			茶		200～400L/10a		
			たばこ		25～150L/10a		

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名 適用雑草名	使用量ほか	
殺菌剤	STダコニール 1000	使用回数 変更	トマト	疫病、輪紋病、 葉かび病、 炭疽病、 灰色かび病、 すすかび病、 うどんこ病	1000 倍 100 ~ 300L/10a	「TPNを含む農薬の総 使用回数」4回以内(土 壌灌注は2回以内) 6回以内(土壌灌注 は2回以内、散布及び くん煙及びエアゾル剤の 噴射は合計4回以内)
		作物名 使用方法 変更 使用量 設定	芝(ハントグラス)及 び芝(ハ-ミーダ グラス) 西洋芝(ハント グラス)及び西洋 芝(ハ-ミーダ グラス)	ヘルミトスホリウム 葉枯病 葉腐病 (ブラウンハッチ)	500 ~ 750 倍 1L/m²	発病初期 8回以内 1 m ² 当り 1L 散布 散布
	STダコニール 粉剤	使用回数 変更	トマト	葉かび病	「TPNを含む農薬の総使用回数」4回以内(土 壌灌注は2回以内) 6回以内(土壌灌注は 2回以内、散布及びくん煙及びエアゾル剤の 噴射は合計4回以内)	
殺虫 殺菌剤	ブラシキラップ フロアブル	使用方法 追加	稲	いもち病 カメムシ類	300 倍 25L/10a	収穫 21 日前まで 2 回以内 散布
		害虫追加		ウンカ類	1000 倍 60 ~ 150L/10a	
除草剤	アグロスクリンチャー ジャンボ	使用時期 変更	移植水稻	ノビエ	移植後 15 ~ 25 日(ノビエ 3 葉期まで)(但し、収 穫 40 日前まで) 移植後 15 日 ~ ノビエ 3 葉期 ただし、収穫 40 日前まで 移植後 25 ~ 35 日(ノビエ 3 ~ 4 葉期まで)(但 し、収穫 40 日前まで) 移植後 25 日 ~ ノビエ 4 葉期 ただし、収穫 40 日前まで	

(阿部)

[目次へ戻る](#)**病害虫発生情報**

4 / 7 ~ 16

青森県* 4月13日 特殊報 **メロン / キュウリモザイクウイルス**

…ラゲナリア系によるメロンモザイク病(アブラムシによる媒介)

当社登録薬剤: アグロスリン水和剤、アグロスリン乳剤、アディオン乳剤、スミチオン乳剤、スミロディー乳剤、
ダイアジノン水和剤34、ダイジノン乳剤40、ダントツ水溶剤、ベストガード水溶剤、
粘着くん液剤など(アブラムシ類)

* 4月13日 特殊報 **レタス / レタス根腐病(レース1)**

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.applenet.jp/viewlist.php?cno=46&rootno=51>

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(小川)

[目次へ戻る](#)

トピックス

平成24年度日本農薬学会 業績賞受賞！ 平成24年度日本雑草学会 技術賞受賞！

平成24年度日本農薬学会

業績賞（技術）：「殺虫剤ピリダリルの創製と開発」

受賞者：坂本 典保、広瀬 太郎、齋藤 茂、梅田 公利

平成24年3月14日（水）から16日（金）の3日間にわたって岡山ロイヤルホテルおよび岡山大学において開催された日本農薬学会第37回大会で住友化学が独自に開発した新規殺虫剤「ピリダリル：商品名プレオフロアブル」が日本農薬学会賞業績賞（技術）を受賞しました。本剤は野菜、果樹、棉の鱗翅目害虫目、アザミウマ目害虫に高い防除効果を示し、既存の殺虫剤に対して感受性の低下した害虫にも効果があります。さらに、天敵や有用生物に対して影響が少なく、IPMに適合した殺虫剤です。



ピリダリルは従来の殺虫剤とは異なるユニークな骨格を有しており、鱗翅目害虫の細胞において特異的な作用を発現することが知られており、それが殺虫効果に関与していると考えられています。現在、日本およびアジア諸国、中東諸国、米国、オランダ等において農薬登録され、それぞれの地域において作物保護に貢献しています。（山脇）



平成24年度日本雑草学会

技術賞：「水稻除草剤プロピリスルフロンの開発」

受賞者：田中 易、池田 源、梶原ゆかり、南 圭三郎、田淵 学典

平成24年4月3日（火）から6日（金）の4日間にわたってつくば市において開催された日本雑草学会第51回大会で住友化学が独自に開発した新規創製水稻除草剤「プロピリスルフロンの商品名ゼータワン」が日本農薬学会賞技術賞を受賞しました。プロピリスルフロンはスルホニル尿素系の除草剤であり、カヤツリグサ科雑草、広葉雑草といった広範囲の雑草に高い防除効果を有するのみならず、既存のスルホニル尿素系除草剤では防除困難なノビエ類に実用的な防除効果を示します。さらに、既存のスルホニル尿素系の除草剤に対して抵抗性を発達させたバイオタイプに対しても除草活性を示します。このため、プロピリスルフロンは単独で、水田で問題になる雑草をほぼ防除することが可能で、有効成分がプロピリスルフロンのみのゼータワンが発売されています。また、雑草の発生程度の変動に対応するため、他の有効成分を混合し、より効果を安定させた「メガゼータ（2種混合剤）」も発売されています。ゼータワン及びメガゼータは有効成分数が少なく、水稻栽培における投下有効成分削減に貢献するものと期待されています。（山脇）



最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい！」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ！」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪

「食卓に花」を添えれば、

まず、今回の「お・・美味しい！」は・・・すみません！最初に言っておきますと、「食べるもの」の話ではありません。タイトルのとおり、「お花」の話題です。今月号は巻頭の農家さん訪問記でも「菊」の話でしたし、先月幕張で開催された「日本フラワー&ガーデンショウ」に出かけたのもあって、最近、自分の中でお花に触れる機会が多いので、あえて「お花」を話題にしてみようと思います。

「サボテンをも枯らす女」という異名？を持つ私、佐伯です。今まで可愛いお花を花屋さんで見ても「いいな～。ウチの食卓にも飾りたいな～」なんて思っているものの、「その前に、家を片付けねば・・・」などと我に返り、結局買わず仕舞の人生を送ってきました(おおげさ)。理由は他にもあります。お花を花瓶に生けるまでは良いのですが、その後、世話ををするのを億劫がるため放置(ひどい)。そのまま可哀そうなことになることが多いので、それなら「最初から(買うのを)我慢する」ことになってしまうのです。

しかしですよ、ある日ふと気付いたのです。「花を飾るということを何も大げさに考えなくてもいいのではないかな？私の身の丈にあった、例えば小さい花瓶に好きな花を少しだけ飾るくらいなら、変に気負わな



↑実はすごく小さい！
キッチン用です

いかもしれない」と。そこで早速、花屋さんに行って、クラシカルな小さな花瓶(今頃はフラワーベースと言うらしい)を買ってきました。もう、この時点で、なんだか気分が楽しくなってきました。それで、いよいよ自分の好きな色、好きな形のお花を厳選して購入します。これを花瓶に生けるのがなんと楽しいことか！一つの花びんに詰め込む自分のセンス・好みの世界。なるほど、花を楽しむということは、こういうことだったのかー！とこの年齢になってようやくわかった次第です(いやはや)。

お花を花瓶にうまくまとめて生けるには、私なりのルールがあります。メインになるようなお花を1つだけ決めて、後はその花を引き立てるような脇役で固めるというルールです。メインと脇

役・・・よく考えれば食事の献立のようですね(笑)。実際に、花屋さんでは、献立を考えるかのごとく「赤のランタンキュラスをメインに持ってくるのであれば、脇役はえーと・・・」という風を選んでいきます。また、たまに花束をいただく機会がありますが、そういった場合は、花束をほどいて、いくつかの花びんに私好みに生けてしまいます。これも、例えば「いただきものの野菜をどう自分なりに消費するか」というのと感覚が似ています。考えてみれば面白いものですね。

切花は鉢物と違って寿命が短いのですが、色々なお花に出会えることになるので、自分自身とても楽しんでいきます。「小さな花瓶」作戦を始めてから、以前に比べて格段にお花に触れる機会が増えたせいか、色々なお花の存在を知ることとなりました。「へええ・・・こんな色のカーネーションがあるのか～」とか「こんな形の菊があるのね～」というふうに、花屋さんに行くたびに新鮮な発見があります。これから季節が春から夏へと移ります。また新しい驚きに出会えるかと思うと、花屋さんに行くのがますます楽しみになります。ちなみに食卓にせっかくお花を飾るなら、と最近こまめに食卓上を片付けるようになりました。こちらも嬉しい副次的効果？ですね(笑)。(佐伯)



ふわふわ！
ランタンキュラス
(日本フラワー&
ガーデンショウにて)



菊の一種 →
ポンポンマム！

弱ってきたら、お花だけお皿に浮かべます

～ 編集後記 ～



今回の農家さん訪問記の取材で、生まれて初めて沖縄を訪問しました。最初に感じたのは気候の違いです。真冬の羽田空港を出発しましたが、到着すると一気に春の空気に包まれました。

飛行機を降りてまず目につくのが、空港施設内に飾られた様々な蘭の花です。見た限り、全てが胡蝶蘭でした。那覇空港では、年間を通じて胡蝶蘭が飾ってあるそうで、空港内のあちらこちらに設けられたコーナーに豪華に飾ってあったり、通路の中央に鉢が置いてあったり、通路に沿ってプランターが並べてあったりと、空港内の鉢の総数は数百に及ぶようです。品種も実に様々で、どの花もとても元気に咲き誇っています。

私自身も胡蝶蘭が好きで1鉢だけ持っていますが、管理が結構難しく、過去に何鉢も枯らしたことがあります。沖縄は年間を通じて温暖とはいえ、これだけの胡蝶蘭を適切に管理されている様子に感心しました。



那覇空港の胡蝶蘭。方々に飾ってあります。

今回の取材は1泊2日と駆け足でしたが、沖縄独自の農業事情や戦略を垣間見ることができ、大変興味深いものになりました。空港を飾る胡蝶蘭にも沖縄の産業をPRする意味があるとのことです。沖縄のことを更に知りたくなった取材でした。
(南)

南国沖縄へは人生2回目の訪問でした。仕事(取材)での訪問だったので自由時間はほとんどなく(当たり前か)、それでも帰りのフライトまでの1時間ちょっと！ホテル周辺～海辺まで散歩することができました。2月は沖縄では一番「花が綺麗な時期」とのことです。見ると確かに街のあちこちに、ハイビスカスやらブーゲンビリアが咲き乱れていて、真冬の東京とえらい違いだなあと改めて南国を実感させられました。また、海辺まで歩いていくと、「あ、猫だ」「あれ？あっちにも猫」「(近づいても)全然逃げないなあ(笑)」といった具合に、のんびり猫たちがあちらこちらに。猫たちにとっても南国沖縄は居心地が良いみたいでした。2月末の沖縄は散歩するのに最適な気候で、上着要らず



ハイビスカス(散歩中に発見)



あちこちで猫が日向ぼっこ中です。

で、寒くも暑くも無く空気もさらっとして、まるで(東京で言えば)4～5月の連休頃の爽やかさです。街や人(猫)の様子も食べ物(※)も同じ日本なのだけど、どこか違う独特な雰囲気です。2回目の訪問とはいえ、すっかりこの「感じ」を忘れてしまっていました。もしかすると沖縄は何度訪れても新鮮な気持ちになれる場所なのかもしれません。(3回目はプライベートで訪問するぞ！)

(※) 沖縄の食については、前月号の「お・美味い！」をご覧ください。

(佐伯)

次月号の - 農力だよりは
5月31日(木)の発行予定です。
どうぞお楽しみに！！

[目次へ戻る](#)